

平成23年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	図書かんは楽しいところだで みんな来ましょ 事業
事業主体 (連絡先)	本だいすきの会
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	227,224 千円 (うち支援金: 225,000 円)

事業内容

村の教育委員会や事業に協力いただける村民有志の方と地域協働により図書室利用促進のための各活動を実施した。

- 図書室利用案内作成
- 赤トンボフェスティバルにて古本市【10月15日、16日開催】
- 図書を村内の他施設(ディサービスなど)に貸し出す。
- 長野県立図書館利用の案内を作ってカウンターに置く
- 図書室利用案内のビデオ作成 図書かん祭で放映
- 朗読CD作成
- 図書かん祭り【12月3日開催、生坂村児童館・生涯学習施設たんぼぼ】

(本の紹介、図書室利用カードの勧誘、利用案内のビデオ放映、のびのびスクールで作成した葉のプレゼント、村内で活動している「生坂おはなしの会おむらいす」「しあわせingサークル」と協力してイベント実施 など)



【赤トンボフェスティバル古本市】

自己評価(事業実施率)【A】

事業効果

図書かん祭りをやったことで、今まで一度も図書室に来なかった人が来館した。子供たちと高齢者も年齢を超え、一緒になってイベントを楽しんだ。

図書室が本を貸し出すだけではない、地域文化の拠点として親しみやすい場であることをみんなに周知できた。

今後の取り組み

朗読ボランティアの一環として朗読CDの作成のための機器を購入したため、実現に向けて活動を続けていきたい。図書室利用者増加のために今後も協力して、ボランティア活動を続けていきたい。

【目標・ねらい】

- 村民を対象に本への関心を深めるための各活動を実施し、図書室利用の推進を図る
- 『図書かん祭り』を開催し、村民同士の触れ合いの場を設けることで、老若男女問わず、すべての生坂村民同士の年齢を超えた絆を築き、地域の文化の拠点として図書室への親しみや愛着を高める

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。